

# 広聴セミナー

## 住民の声を政策に生かすノウハウを学ぶ

多様な住民の声の中から、政策に反映すべきニーズをいかに見出すか、地方分権時代に求められる自治体の広聴のあり方とは何か……。 「広聴の現状」「広聴により得られた意見等を政策に生かすまでの政策形成のプロセス」に関する講義と、住民のニーズの中から政策に反映すべき意見をいかにして抽出するか、広聴のポイントと手法を学びます。

### 開催要領

日時： 平成31年2月8日（金）

講師： 浦野 秀一 氏（荳コミュニティ研究所所長）

会場： 国立オリンピック記念青少年総合センター ※部屋番号は参加証発送時にお知らせします

所在地： 東京都渋谷区代々木神園町3-1

アクセス： 小田急線「参宮橋駅」から徒歩7分、東京メトロ千代田線「代々木公園駅」4番出口から徒歩10分

定員： 24人



### カリキュラム（予定）

09:30～10:00 受付

10:00～11:10 講義（今、なぜ「広聴のあり方」が問われるのか）

- （1）広報広聴活動の原点
- （2）地方自治の変遷と住民と行政との関係の変化

11:10～12:30 グループ実習（これからの広聴はどうあるべきか）

- （1）話し合いによる意見出し
  - ①「広聴」の否定的要素・肯定的要素
  - ②「広聴」の望ましいあり方

13:30～15:10 （2）K I T - P T法による分析

（3）グループ発表と講評

15:10～17:00 講義（これからの行政経営と「広聴」のあり方）

- （1）住民と行政との情報の共有とは
- （2）広聴マネジメントのすすめ
- （3）広聴の充実と議会制度との関係